

神様便秘状態化計画

大鉄から貰った神薙神社の御神木で聖霊像を彫った俺、御厨仁。その聖霊像を依り代として顕現した産土神、ナギ。2人の奇妙な生活が始まって数日たったある日、とある事で押入れにこもったナギに、ダンボール箱に教科書と書いて隠しておいたエロ本を見られてしまった。そこにあったのは巨乳物ばかりだったので、すっかり俺は巨乳好きキャラとして定着してしまった。だが…

本当に隠しておきたいものはもっと奥深くに隠しておくものだ。もちろん巨乳も好きなのだが、もっと好きなのは「お尻」なのだ。2人暮らしがスタートした初めての夜、彼女がトイレに行ったのに気付いた。「神様なのにトイレ行くんだ」その事に強く興味をひかれた俺はある計画を企てる事にした。まず俺が用意する食事にこっそり下痢止めを入れていく。そして彼女がトイレに行く時に、その時間の長さと、出て来た彼女の状態をチェックする。どうやら狙い通りここ数日間便秘状態になっているようだ。そろそろ1週間、限界が近いはずだ…

ナギ

少女の姿をした
自称神様。高飛車で傲岸不遜、言葉遣い以外は全く神様らしくない。
身長155cm
78.57.80
Aカップ





帰宅すると、神様が苦しそうに腹を抱えていた。そらぞらしく介抱する俺。彼女はもう10日間も便秘である事を恥かしそうに告白した。



それは大変と心配するフリをしてもう自力で動けない彼女を治療してやる事にする。下着を下ろし神様のケツの穴を見た。なんて美しいんだ！



肛門が硬くなっ
てるせいとも言
いながら、俺は神
様のケツの穴に舌
を伸ばした。ホジ
る様に舐めまくだ。
徐々に軟らかく
弛んで来る。



次は便の状態を
確認すると言って、
神様の小さなケツ
の穴に指を突っ込
んだ。なんてキツ
いんだ！クク、
硬いウンチがそこ
にあるぜ！！



少しイキんでみるよう勧める。するとはしたない音を響かせて、神様のオナラが噴き出した。なんて臭いんだよ！鼻が曲がりそうだぜ！！



仕方ないなあと困り顔を作りながら浣腸をする。1つ目は一気に注入し、2つ目は神様の恥かしそうな顔の表情を楽しみながらゆっくり入れた。



もっと我慢しないと、という忠告を無視して、神様はイキみ始めた。だが洗面器に吐き出されたのは、茶色く濁った薬液だけだった。



もう少し中をかき回さないとダメだなと言って、俺はこっそり肉棒をあてた。また指かと思ってた神様のケツの穴にブチ込んでやった。